

北海道駒ヶ岳

1 概況

火山活動は静穏な状態が続きました。

地殻変動観測では長期的に見るとわずかな山体膨張が引き続き認められます。

2 噴煙活動の状況

遠望カメラによる観測では、5日に96年南火口列で30mの噴煙が観測された他は、昭和4年火口を含め噴煙は確認されませんでした。噴煙活動は2001年2月以降、低下した状態が続いています。

3 地震活動の状況

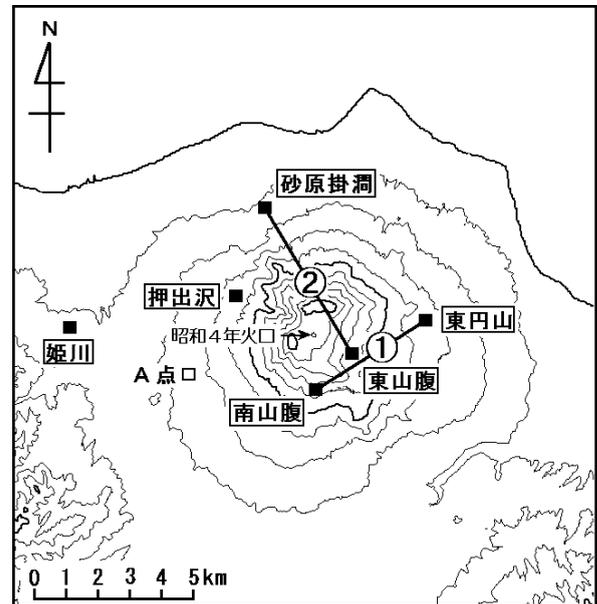
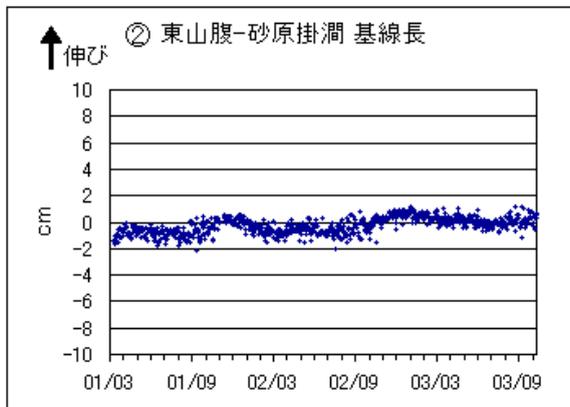
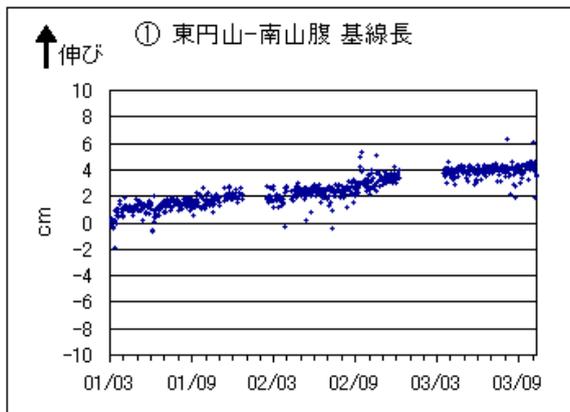
地震活動は引き続き少ない状態で推移しました。震源は通常の活動領域内である山頂火口原の浅部(海拔付近)と推定され、特段の変化は見られていません。火山性微動は観測されませんでした。

月別地震・微動回数(A点)

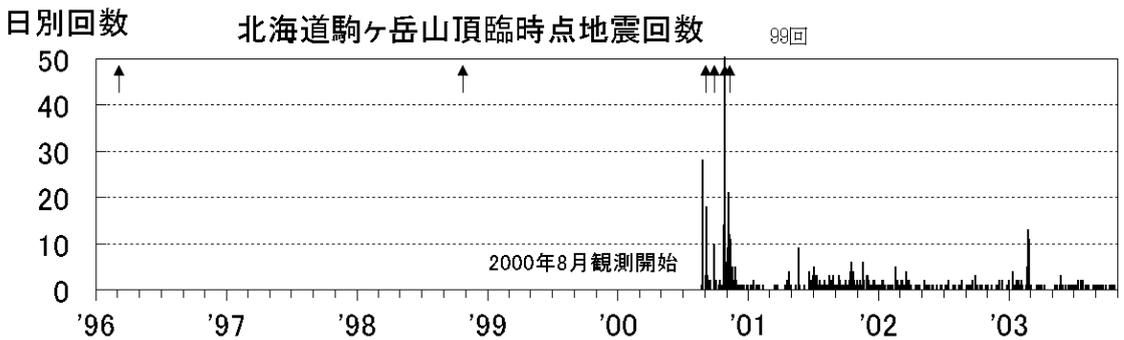
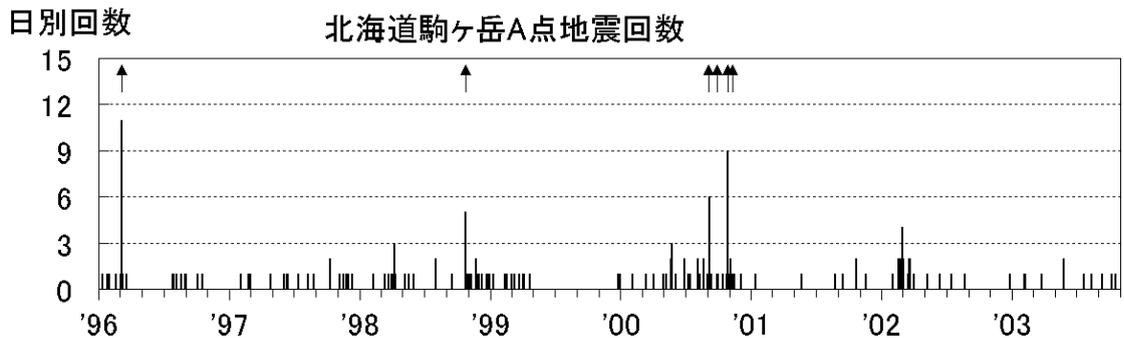
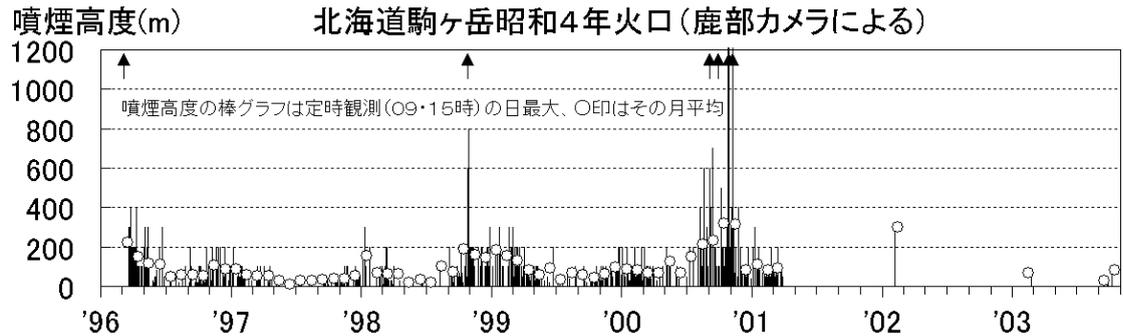
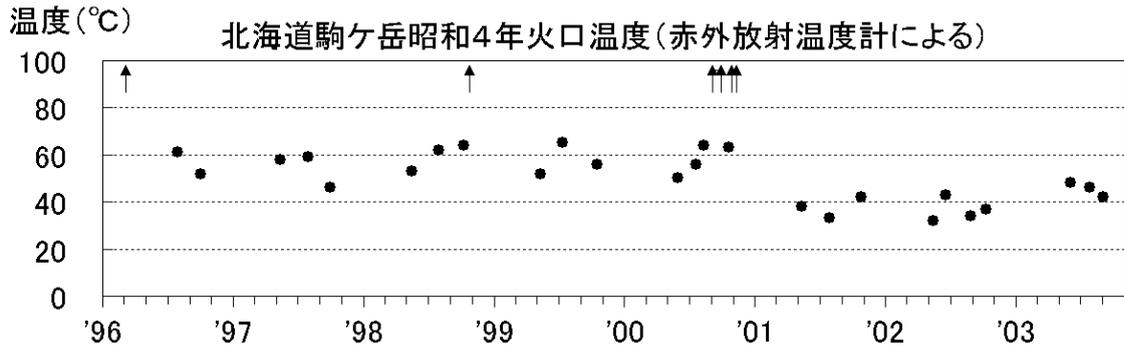
2002~2003年	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
地震回数	0	1	0	2	1	0	2	0	1	1	1	2
微動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

4 地殻変動の状況

GPS観測では、わずかな山体膨張傾向が引き続き認められます。

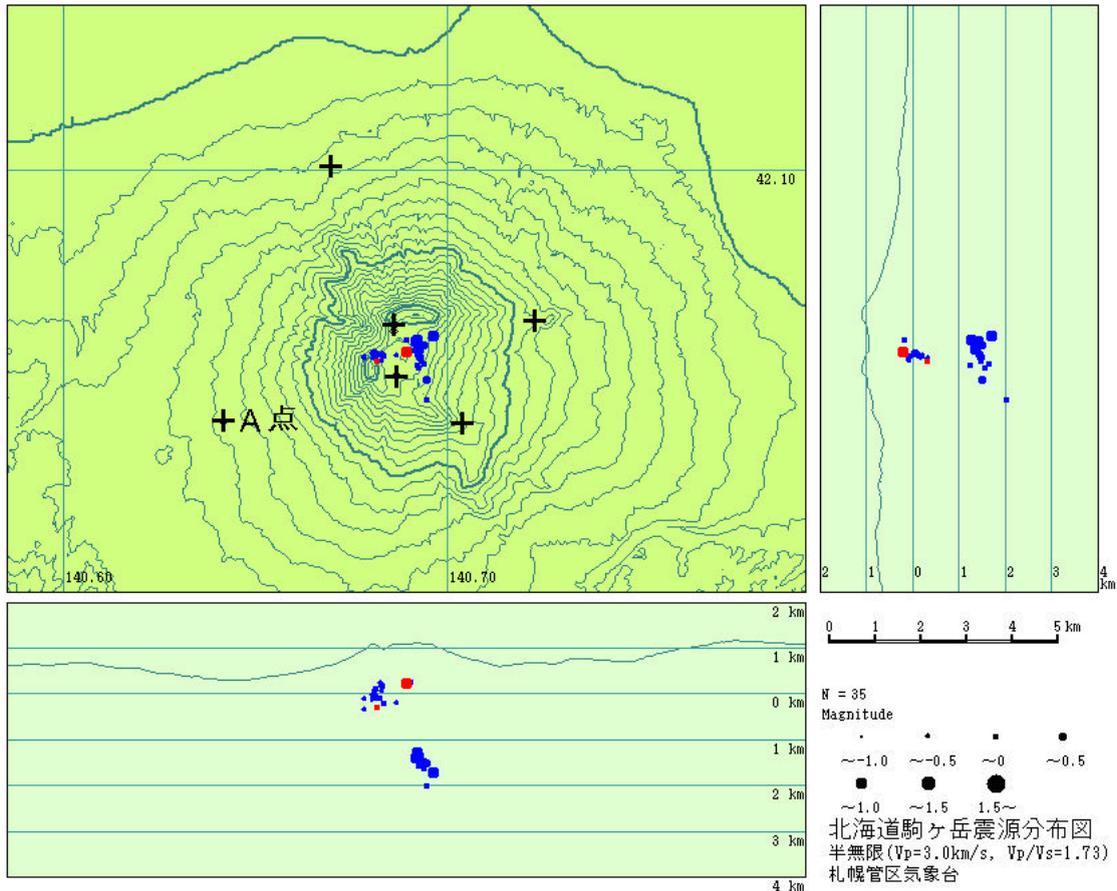


北海道駒ヶ岳基線長変化(2001年3月23日~2003年10月31日)



北海道駒ヶ岳火山活動経過図

(日別、1996年1月1日~2003年10月31日) 印は噴火



北海道駒ヶ岳震源分布図 + 印は地震観測点

震源表示 赤（今期間）：2003年10月1日～10月31日

青（前期間）：2002年11月14日～2003年9月30日

過去の震源は大きく分けて山頂火口原直下の海拔付近と海拔下1～2kmの2グループに集中して分布しており、今期間の活動もこれらの領域内で発生していることがわかります。この他に北東山麓付近のやや深いところ（5～10km）を震源とする地震が時折発生しますが、十分な精度が得られないためこの図にはプロットしていません。



北海道駒ヶ岳山頂火口周辺図